

本製品の接続対応機種

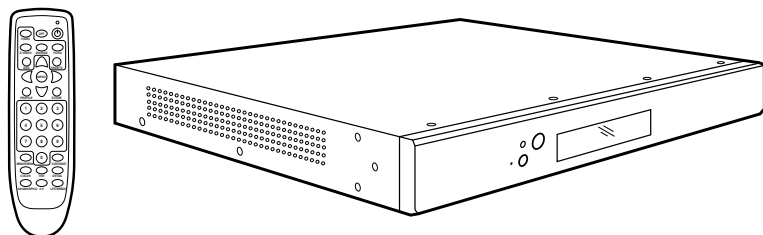
DLA-HD2K シリーズ / DLA-HD10K シリーズ



本製品は上記機種専用です。上記以外の機種に接続して使用した場合、性能を保証することはできません。
専用機として使用するため、本書（取扱説明書）には、使用しない機能説明や仕様についても記載しています。

D-ILA® デジタルビデオプロセッサ

型名 **LD-HD2KB**



目次

安全上のご注意	2
付属品／各部のなまえとはたらき	5
付属品を確認する	5
本体 - 前面	5
本体 - 背面	6
リモコン	8
リモコンへの電池の入れかた	10
設置と接続	11
設置するときの注意	11
機器との接続	12
電源コード（付属）の接続	13
基本操作	14
メニューで行う調整と設定	16
セットアップメニューの設定項目	16
OSD メニューの設定項目	16
セットアップメニューの操作	17
セットアップメニューの内容	18
OSD メニューの操作	21
OSD メニューの内容	22
ワーニング表示	25
RS-232C 外部制御の説明	26
コマンド構成	26
パーソナルコンピュータについて	26
RS-232C 端子	26
RS-232C 制御コマンド	27
保障とアフターサービス保証書 （必ずお読みください）	29
主な仕様	30

はじめに

準備

操作

その他

ご購入上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、後日調べたいときのために保証書と一緒に大切に保存してください。

* D-ILA® は日本ビクターの登録商標です。

安全上のご注意

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。

これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



注意

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

■注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意

■してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

■必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線をつなぐ









警告

<ul style="list-style-type: none"> 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。 		
<ul style="list-style-type: none"> 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 		
<ul style="list-style-type: none"> 万一、機器の内部に異物などが入った場合は、まず差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭や施設ではご注意ください。） 		
<ul style="list-style-type: none"> 画面が映らない、各機能の動作状態を示すランプ点灯が異常などの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。 		
<ul style="list-style-type: none"> 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 		
<ul style="list-style-type: none"> この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。 		
<ul style="list-style-type: none"> この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。 		
<ul style="list-style-type: none"> 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 		

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。	
● この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭や施設ではご注意ください。)	
● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。	
● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。	
● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。	
● 公衆浴場、温泉、風呂場等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	
● 雷が鳴り出したら差し込みプラグには触れないでください。感電の原因となります。	
● 屋外で使用していて、雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止しこの機器から離れてください。落雷の原因となります。	
● 壁や他の機器と間隔をあけて設置してください。排気口から温風として排気される内部熱が遮断されたり、他の機器からの排気熱が本機に入り込むなどして内部に熱がこもり、火災の原因となります。また、排気口からは温風が出ますので、やけどや他の機器への損害を与える原因となります。	
● 電源コードは付属品を使用してください。付属品以外のコードを使用すると、火災・感電の原因となります。	
● 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。	

注意

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	
● 調理台や加湿機のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	
● キャスター付き台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	
● この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。 ● 倉庫、押し入れ、本箱などの風通しの悪い狭い所に押し込む。 ● テーブルクロスなどを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。 	
● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭や施設ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	 

安全上のご注意（つづき）

<ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● めれた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● めれた手でこの機器の操作や、この機器に触れたりしないでください。感電の原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コード、転倒防止具をはずしたことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、この機器を運ぶときは、バランスに気を付けて、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 長期休業や旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。この機器の内部にほこりがたまると、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光があたる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。また、金魚鉢や水の入ったペットボトルなどレンズ効果を起こすものに注意してください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ、ビデオ、コンピューター、ゲーム機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に他の機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつないでください。コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、電源コードは機器本体につないでから、壁のコンセントに差し込んでください。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜いてください。壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、機器側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 安全アースを接続してください。安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。電源プラグから出ている緑色のアースリード線を建物に備えられているアース端子につないでください。アース線の接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから外して行なってください。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 機器は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置に容易に手が届くようにしてください。 		
<p>SCREEN 端子の使用上のご注意</p> <p>本機の [SCREEN] 端子を使用する前に、ケーブルをスクリーンに接続してください。</p> <p>本機の [SCREEN] 端子からは、DC+12 V / 100 mA の信号が出力されています。ショートすると、故障・火災・感電の原因となりますので、設置業者にケーブルの接続を依頼してください。</p>		

付属品／各部のなまえとはたらき

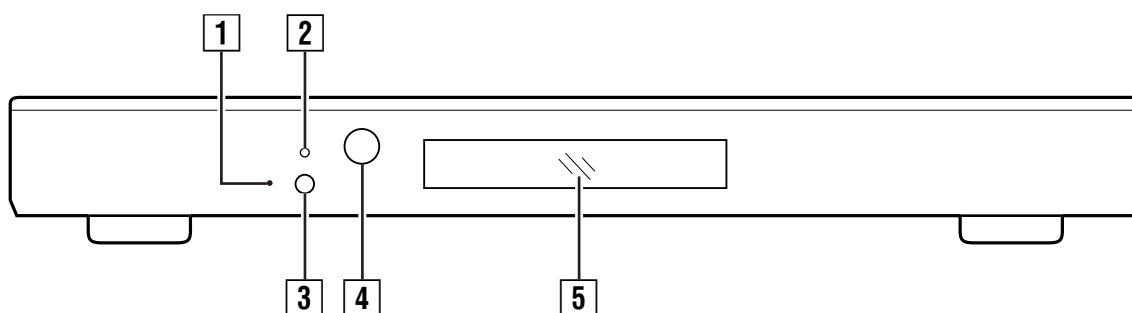
付属品を確認する

本機には次の付属品が梱包されています。付属品をご確認ください。

万一、不足しているものがございましたら、お手数でもお買い上げの販売店にご連絡ください。

取扱説明書	× 1 冊
サービス窓口案内	× 1 枚
保証書	× 1 冊
電源コード	× 1 本
DVI ケーブル	× 1 本
リモコン	× 1 個
単 4 乾電池（動作確認用）	× 2 個

本体 - 前面



1 リセットスイッチ

本機が正常に動作しない場合、穴の奥にある「リセットスイッチ」を先のとがっていない、折れにくい細い棒で軽く押ししてください。

- 記憶されているプロファイルやシステム設定は消去されません。
- コンセントから本機の電源コードを抜いてもリセットされます。

2 インジケータ

緑色：電源が入っているとき (☞14ページ)

赤色：スタンバイモードのとき (☞15ページ)

3 電源／スタンバイ ボタン

本機がスタンバイモードのときに押すと、本機の電源が入ります。もう一度押すと、スタンバイモードになります。(☞14ページ)

4 リモコン受光部

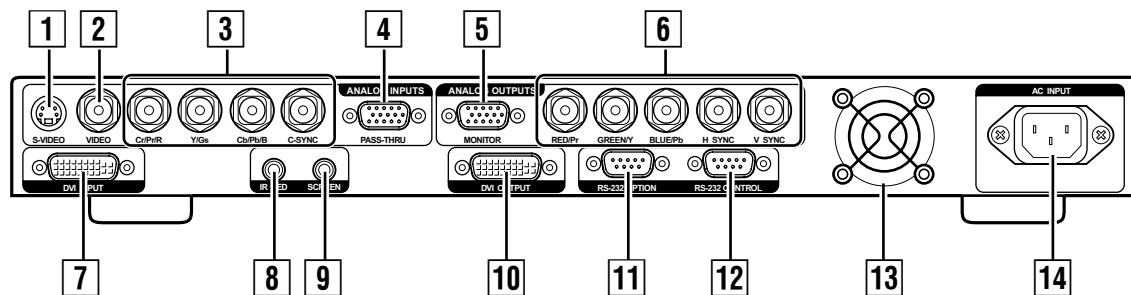
リモコンで操作するときは、リモコンをここにに向けて操作します。

5 本体表示窓

本機の操作情報および内部温度の警告を表示します。(☞17、25ページ)

- セットアップメニューおよび警告表示は、オンスクリーン表示できません。本体表示窓に表示します。
- 内部温度の警告表示については 25 ページをご覧ください。

本体-背面



1 [S-VIDEO] 入力端子(ミニ DIN 4 ピン)

ビデオデッキなどのS映像 (Y/C) 出力信号を入力します。

2 [VIDEO] 入力端子(BNC)

ビデオデッキなどのコンポジットビデオ出力信号を入力します。

3 [Cr/Pr/R, Y/Gs, Cb/Pb/B, C-SYNC] 入力端子 (コンポーネント／RGB入力端子 BNC)

480i/480p, 576i/576p, 720p/1080i 50 Hz/60 Hz 信号を入力します。

- 上記信号をセットアップメニューで設定したスキャンレートに変換し、出力します。

4 [PASS-THRU] 入力端子 (パススルー入力端子 D-sub 15 ピン)

HDTVまたはコンピューター信号のような高いスキャンレートの信号を入力したとき、プロジェクターにパススルー（直結）できます。本機では、この端子から入力した信号をプロジェクターで投写することができません。

- この端子に入力した信号は、変換およびトランスコード (YPrPbからRGBHV) はされません。
- [MONITOR]出力端子に出力することができます。
- 通常、この端子は使用しません。

5 [MONITOR] 出力端子 (モニター出力端子 D-sub 15 ピン)

コンピューターのモニターや、2台目のディスプレイ機器を接続するときに使います。

- 通常、この端子は使用しません。
- セットアップメニューの「SET: ACTIVE OUTPUT」を「ANALOG RGB+DVI」または「ANALOG RGB」に設定してください。(☞18ページ)
- DVI入力端子にHDCP信号が入力された場合、アナログ端子から映像信号は出力されません。また、本体表示窓に「ENCRYPTED SOURCE ANALOG OUT DISABLE」のメッセージを表示します。
- DVI出力端子との同時使用はできません。
- 信号の減衰やリンギングを防ぐため、D-subケーブルは3 m以内のケーブルを使用してください。また、D15-BNC変換ケーブルは、75Ωの同軸ケーブルをご使用ください。

6 [RED/Pr, GREEN/Y, BLUE/Pb, H/V SYNC] 出力端子(BNC)

RGBHVまたはYPrPb信号の入力端子を持つディスプレイ機器と接続します。

- 通常、この端子は使用しません。
- コンピューターの信号を使用するときは、水平同期信号 (H) と垂直同期信号 (V) もディスプレイ機器に接続してください。
- セットアップメニューの「SET: ACTIVE OUTPUT」を「DVI」以外に設定してください。(☞18ページ)

7 [DVI INPUT] 端子

入力可能な信号は、480i/480p、576i/576p、720p/1080i 50 Hz/60 Hz信号です。コンピューターから出力されるような高いスキャンレートの信号を入力したときは、パススルー（直結）します。また、本機はDVI入力とDVI出力の状態を常に監視し、本体表示窓に情報を表示します。

「DVI」

入力可能な信号が入力されたとき

「NO INPUT」

入力信号が無いとき

「VERIFYING OUT-LINK」

プロジェクターとのDVI接続にて、割り込みが入ったとき

「DVI PASS-THROUGH」

コンピューターから出力されるような高いスキャンレートの信号が検出され、信号を変換処理せずに出力したとき

「RATE NOT SUPPORTED」

アナログRGBまたはYPrPb出力を選択しているときに、本機が対応していない信号を検出したとき

- HDCP信号を入力した場合、スクリーンに表示されるまでしばらくかかります。
- セットアップメニューにて、DVI入力レベルと同期信号のタイプを正しく設定してください。
(☞19ページ)

8 [IR LED] 端子

本機では使用できません。

9 [SCREEN] 端子

スクリーントリガー対応の昇降式スクリーンを制御します。セットアップメニューの「SET: SCREEN TRIGGER」を「ON」に設定するか、RS-232Cコマンドにて設定してください。本機の電源が入っているときにDC+12 V / 100 mAを出力します。また、ご使用になるときは、4ページの「SCREEN端子の使用上のご注意」をご覧ください。

10 [DVI OUTPUT] 端子

DVI出力端子です。本機に付属されているDVIケーブルを使用してプロジェクターと接続します。

- HDCP信号を本機に入力した場合、映像が投写されるまでしばらくかかります。
- セットアップメニューの「SET: ACTIVE OUTPUT」を「ANALOG RGB+DVI」または「DVI」に設定してください。
(☞18ページ)

11 [RS-232 OPTION] 端子(D-sub 9ピン)

本機では使用できません。

12 [RS-232 CONTROL] 端子(D-sub 9ピン)

RS-232Cインターフェース規格の端子です。外部にコンピューターを接続して本機をコントロールすることができます。詳しくは、お買い上げの販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。

- セットアップメニューの「SET: RS232 ECHO」および「SET: BAUD RATE」の設定をしてください。
(☞20ページ)

13 排気ファン

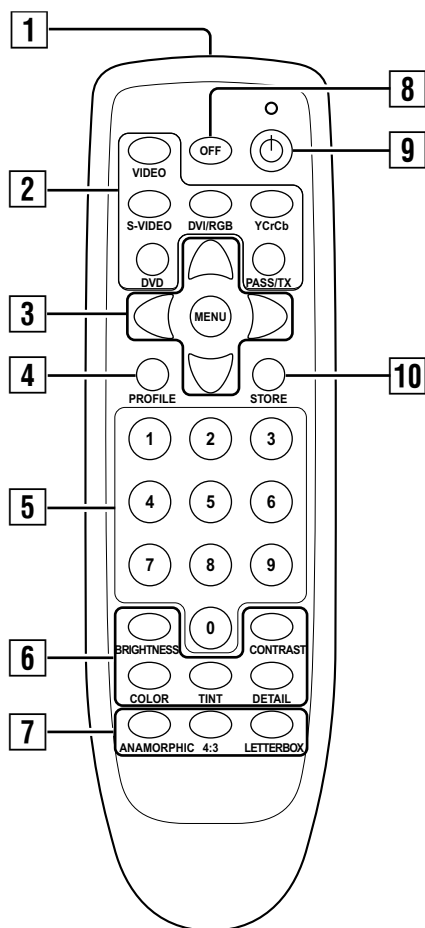
セット内部を冷却した温風を排気します。排気ファンをふさがないでください。故障の原因になります。

14 電源コード入力端子

電源入力端子です。付属の電源コードを接続します。

リモコン

お使いの入力ソースや本機の設定によっては機能しないボタンがあります。機能しないボタンを操作した場合、本体表示窓に“KEY NOT VALID”のメッセージが表示されます。



1 リモコン発光部

2 入力選択ボタン

本機に入力する信号を設定します。

[VIDEO] ボタン

本機背面の[VIDEO]入力端子に、入力したコンポジットビデオ信号を選ぶときに押します。

[S-VIDEO] ボタン

本機背面の[S-VIDEO]入力端子に、入力したS映像信号を選ぶときに押します。

[DVI/RGB] ボタン

本機背面の[DVI INPUT]または[R/G/B/C-SYNC]入力端子に、入力したデジタルDVI信号またはアナログRGB信号を選ぶときに押します。

- [DVI/RGB]ボタンは、押すごとにデジタルDVI入力とアナログRGB入力が交互に切り換わります。また、DVI入力とRGB入力を直接指定することもできます。

DVI入力

[DVI/RGB]ボタンを押したあと、[0]ボタンを押す

RGB入力

[DVI/RGB]ボタンを押したあと、[1]ボタンを押す

[Y/Cr/Cb] ボタン

本機背面の[Y、Cr/Pr、Cb/Pb]入力端子に、入力したコンポーネントビデオ信号を選ぶときに押します。

[DVD] ボタン

本機では使用できません。

[PASS/TX] ボタン

本機の入力端子に入力した信号を、同じフォーマットで出力（パススルー）するときに押します。

DVI入力信号はDVI出力端子に、アナログ入力信号はアナログ出力端子にトランスコード（YPrPbからRGBHV）せず、出力します。

DIGITAL(DVI) → DIGITAL(DVI)

ANALOG RGBHV(D15) → RGBHV(BNC&D15)

YPrPb(BNC&D15) → YPrPb(BNC&D15)

3 メニュー操作 [▲ / ▼ / ◀ / ▶ / MENU] ボタン

セットアップメニューやOSDメニューを操作するときに使用します。(☞17、21ページ)

4 [PROFILE](プロファイル)ボタン

本機に記憶したプロファイルを呼び出すときに押します。(☞15、22ページ)

5 数値入力ボタン

OSDメニューのブライトネスやコントラストなど(数値にて調整する項目)を調整するときに使用します。(☞23ページ)

6 映像調整ボタン

ブライト、コントラスト、カラー、ティント、ディテールの調整を行うときに使用します。映像調整ボタンを押したあと、数字ボタンを押して設定値を入力します。

- OSDメニューでも調整できます。(☞23ページ)

[BRIGHTNESS] (ブライトネス) ボタン

映像の明るさを調整します。
(工場出荷時の値：50)

[CONTRAST] (コントラスト) ボタン

映像の明暗の差を調整します。
(工場出荷時の値：50)

[COLOR] (カラー) ボタン

映像の色の濃さを調整します。
(工場出荷時の値：50)

[TINT] (ティント) ボタン

映像の色あいを調整します。
(工場出荷時の値：50)

- 現状の色合い設定で、映像の色のバランスがとれていないように見える場合に調整してください。
- コンポーネント (YPbPr) 信号のときは、調整できません。

[DETAIL] (ディテール) ボタン

映像の画質を調整します。
(工場出荷時の値：4)

- ご覧になるコンテンツに合わせてお好みの設定値を選んでください。

お知らせ

セットアップメニューの「SET: 1080i TO 1080p」の設定値が「HIGH BANDWIDTH MODE」の場合、下記のボタンは機能しません。また、本体表示窓に“HIGH BANDWIDTH MODE KEY NOT VALID”のメッセージが表示されます。

- [DETAIL] ボタン
- [ANAMORPHIC] ボタン
- [4:3] ボタン
- [LETTERBOX] ボタン

7 映像のサイズ調整ボタン

本機から出力する映像信号のアスペクト比を設定します。

- スクリーンの形状 (アスペクト比) については、セットアップメニューで設定します。(☞18ページ)

[ANAMORPHIC] (アナモフィック) ボタン

16:9の映像信号を出力するときに選びます。

- 入力映像がシネマ映像 (アスペクト比 2.35:1) のときは、映像の上下に黒い帯が付いた16:9の映像信号を出力します。

[4:3] ボタン

4:3の映像信号を出力するときに選びます。

ご注意

16:9のスクリーンに、16:9以外の画像 (4:3など) を長時間映さないでください。焼きつきの原因となります。焼きつきは保証対象外となります。

[LETTERBOX] (レターボックス) ボタン

16:9のスクリーンに4:3の映像を投写すると、映像の左右に黒い帯が表示されます。この黒い帯を無くし、スクリーン全体に映像を表示する場合に押しします。ただし、映像は画面全体に広がりますが、上下の一部の映像が表示されません。

8 [OFF] (オフ) ボタン

本機の電源が入っているときに押すと、スタンバイモードになります。(☞15ページ)

9 電源ボタン

スタンバイモードのときに押すと、本機の電源が入ります。(☞14ページ)

10 [STORE] (ストア) ボタン

出力スキャンレート(セットアップメニューの「SET: NTSC SCANRATE」または「SET: PAL SCANRATE」)を選ぶときや、変更したプロファイルデータを記憶するとき、またはプロファイル番号を呼び出すときに押しします。(☞22ページ)。

用語解説**NTSC:**

National Television System Committeeの略。日本やアメリカで採用されているテレビ放送の規格。

PAL:

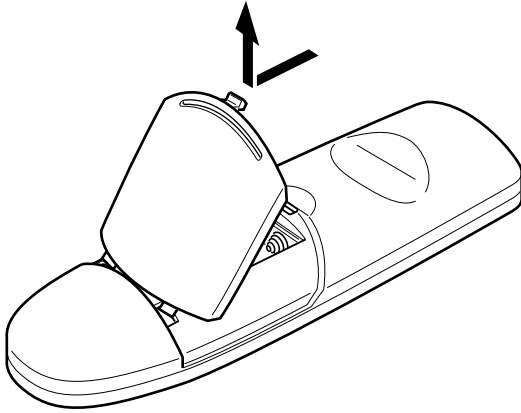
Phase Alternating Lineの略。ヨーロッパなどで採用されているテレビ放送の規格。

リモコンへの電池の入れかた

リモコンに乾電池を入れてください。また、リモコンが正常に動作しなくなったら、新しい乾電池と交換してください。

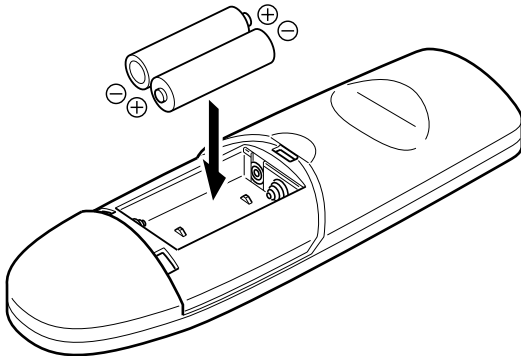
1 裏ぶたを開けます

裏ぶたの上部を指で手前に押しながら、はずします。



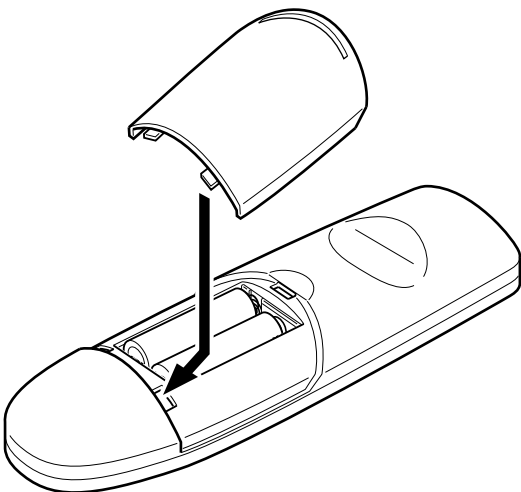
2 乾電池を入れます

付属の乾電池（単4形）2本を⊕、⊖の表示どおり入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。



3 裏ぶたを閉めます

裏ぶたのつめをリモコンの溝に入れ、閉じます。



乾電池の使いかたの注意



注意

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。

次のことにご注意ください。

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- 電池は種類によって特性が異なるので種類の違う電池は混ぜて使わない。
- 電池ケースのプラス⊕とマイナス⊖の表示どおりに入れる。
- 電池を入れるときは、ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス⊖側を先に入れる。
- 電池を火の中へ入れたり、充電したりしない。
- 指定された電池以外は使わない。
- 長期間使用しないときには、乾電池を取りだしておく。
- 電池はできるだけマンガン電池をお使いください。充電式電池やアルカリ乾電池は使用しないでください。
- 電池に表示されている注意事項をお読みください。

電池の寿命は

電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。

液漏れについて

電池が消耗して使えなくなったときは、すぐに取りだして交換してください。

そのままにしておくと液漏れの原因になったり、液漏れが故障の原因となることがあります。

設置するときの注意

本機を設置するときには、次のことをよくお読みになって設置してください。

設置する環境



注意

本機は精密機器ですので、次のような場所での設置や使用はおやめください。火災や故障の原因となる場合があります。

- 水や湿気、ほこりの多いところ
- 油煙やたばこの煙のあたるところ
- じゅうたんや布団などの柔らかいものの上
- 直射日光があたって高温になるところ
- 高温・低温のところ

本機をラックに設置する場合は、通風があることを確認してください。ラックにパワーアンプなど熱を発生する機器を設置するときは、ラックにファンを取り付けてください。

許容動作温度範囲：+ 5 °C ~ + 35 °C

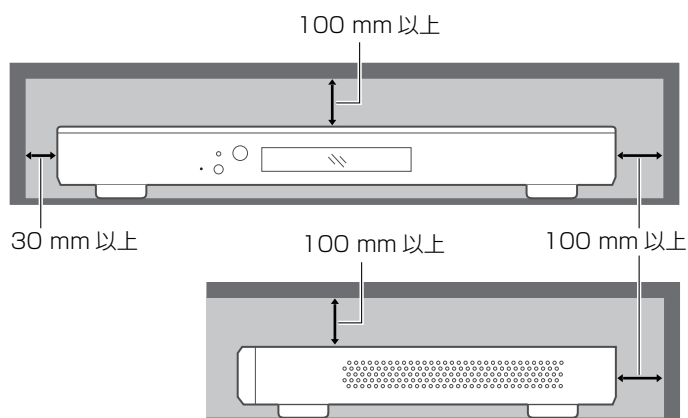
許容動作相対湿度範囲：20 % ~ 80 % (非結露)

許容保存温度範囲：- 10 °C ~ + 60 °C

- 煙草の煙や油気がある部屋に設置しない

微量の煙や油気でも長い間に影響があり、故障の原因となります。

最低限必要な空間



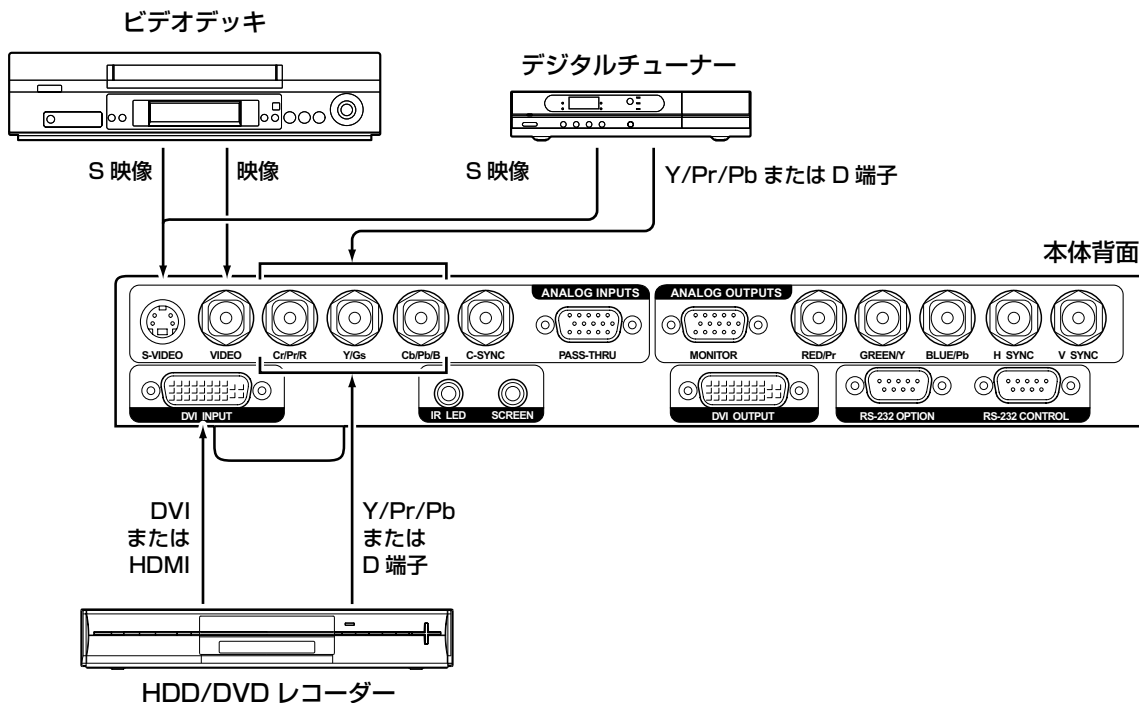
- 本機を密閉したり、吸気口・排気口をふさいだりしないでください。また、設置のときは放熱をよくするため、本機の周囲に十分なスペースを確保してください。
- 本機をラックに設置する場合は、通風があることを確認してください。また、ラックにパワーアンプなど熱を発生する機器を設置するときは、ラックにファンを取り付けてください。

機器との接続

接続を始める前に、必ず本機と接続する機器の電源を切ってください。

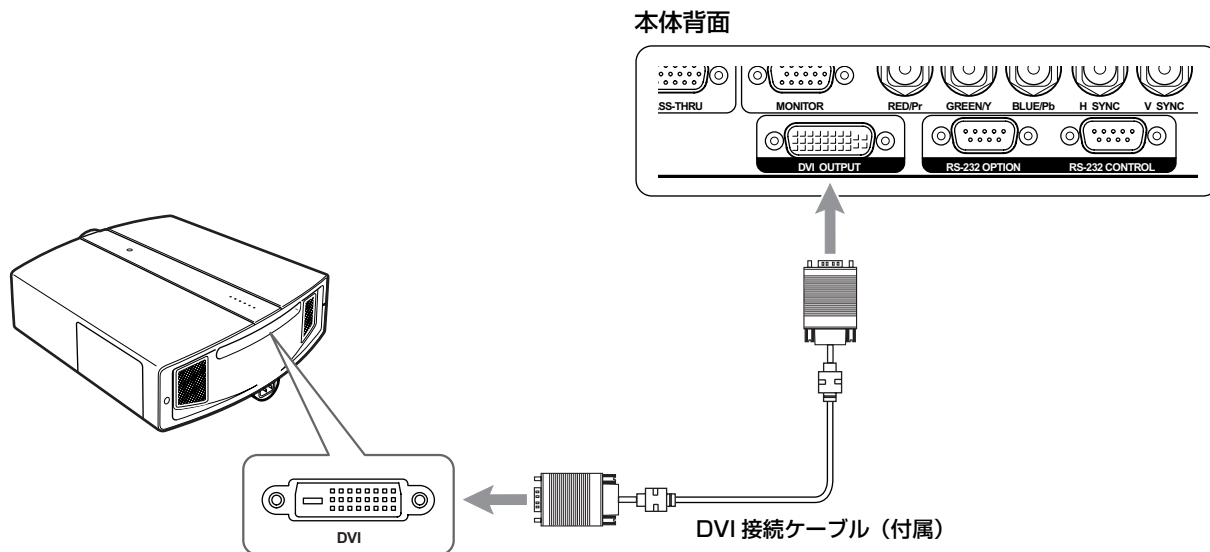
入力機器との接続

- 接続する入力機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 接続機器および接続方法は一例です。



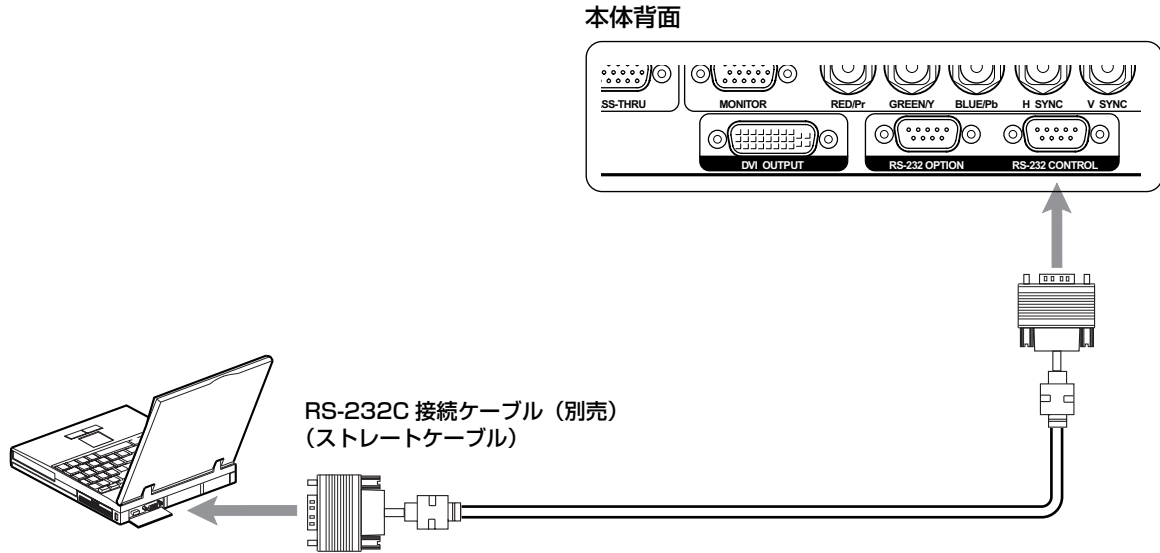
プロジェクターとの接続

- 接続するプロジェクターの取扱説明書をよくお読みください。
- 本機に付属されている DVI ケーブルをご使用ください。本機に付属されている DVI ケーブルよりも長いケーブルを使用するときは、分配システムや光ファイバーケーブルの使用を推奨します。
- ご使用になる DVI ケーブルの性能によっては信号が減衰し、映像が不安定になることがあります。



外部からコントロールする

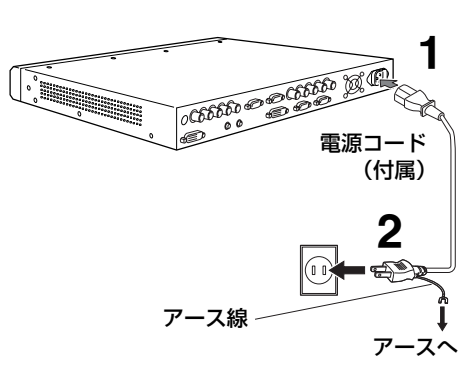
コンピューター機器を本機背面の [RS-232 CONTROL] 端子に接続して、本機をコントロールすることができます。必要に応じて接続用のケーブルをお求めください。詳しくはお買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。



準備

電源コード(付属)の接続

電源コードをコンセントに差し込む前に、機器の接続が済んでいることを確認してください。



- 1 本体の [AC INPUT] 端子に、付属の電源コードを接続します
- 2 アース線を建物に備えられているアース端子に接続し、付属の電源コードのプラグをコンセントに差し込みます

アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース線の接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行なってください。

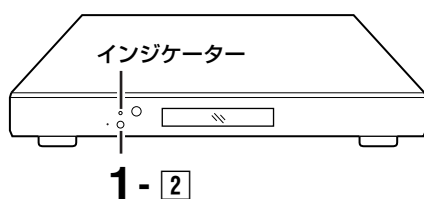
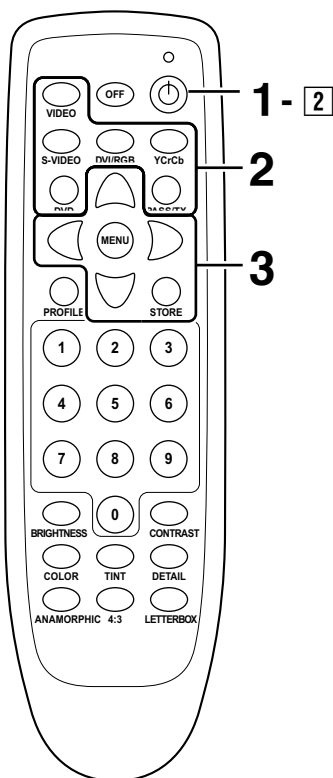
火災・感電防止の注意



注意

- 機器を使用しないときは、機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 付属の電源コード以外で接続しないでください。
- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損します。
- めれた手でプラグを抜き差ししないでください。

通常は以下の操作をするだけで、映像を楽しむことができます。その他、必要な設定がある場合は『メニューで行う調整と設定』をご覧ください。



準備:

- 入力機器やプロジェクターの電源を入れます。

1 電源を入れます

1 電源プラグをコンセントに差し込みます

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、本機は初期化を行います。
- 初期化が終了するとスタンバイ状態（インジケーターが赤色に点灯）になります。

2 リモコンの電源ボタン(または本体の電源/スタンバイボタン)を押します

- 本体のインジケーターが緑色に点灯します。

2 リモコンの入力選択ボタンを押して、入力ソースを選びます

- HDCP信号の場合、スクリーンに表示されるまでしばらくかかります。
- 本機が対応していない信号が入力された場合、本体表示窓に「RATE NOT SUPPORTED」のメッセージが表示されます。

3 出力解像度の設定をします

1 リモコンの[MENU] ボタンを7秒間押して、セットアップメニューに入ります

2 [▲/▼] ボタンを押して、「SET: NTSC SCANRATE」または「SET: PAL SCANRATE」を選びます

- 入力信号がNTSC信号のときは、「SET: NTSC SCANRATE」を選びます。
- 入力信号がPAL信号のときは、「SET: PAL SCANRATE」を選びます。

3 [▲/▼] ボタンを押して、「1920 × 1080」または「1920 × 1080/50Hz」を選びます

- 入力信号がNTSC信号のときは、「1920 × 1080」を選びます。
- 入力信号がPAL信号のときは、「1920 × 1080/50Hz」を選びます。

4 [STORE] ボタンを2回押して、出力解像度を記憶します

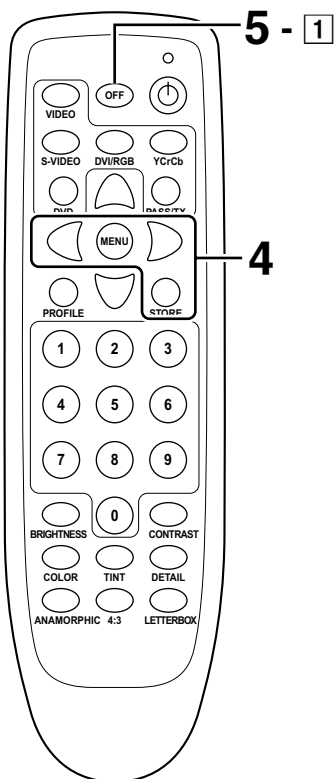
- スクリーンに映像が現れます。

5 [MENU] ボタンを2回押して、終了します

お知らせ

4:3のスクリーンを使用するときは、出力解像度の設定のあと、次の設定も行なってください。

1. セットアップメニューの「SET: SCREEN SHAPE」を「4:3」に設定します (☞18ページ)
2. リモコンの[4:3] ボタンを押します
 - 本機から出力する映像信号のアスペクト比が4:3になります。
 - OSDメニューでも設定できます。(☞22ページ)



4 手順2, 3で設定した内容を、プロフィールとして記憶します

- 1 [STORE] ボタンを押します
 - スクリーンに「Store 1 2 3 4」が表示されます。
- 2 [◀▶] ボタンを押して、記憶させる番号を選びます
- 3 [STORE] ボタンを押して記憶します
 - 本体表示窓に「COMPLETE」が表示されます。

お知らせ

他の入力映像をプロフィールとして記憶するときは、手順2, 4を繰り返します。

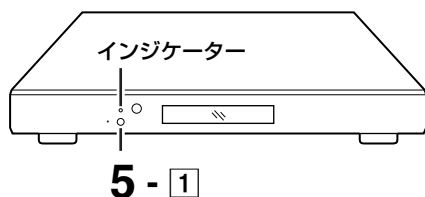
5 電源を切ります

- 1 リモコンの [OFF] ボタン（または本体の電源／スタンバイボタン）を押します
 - 本体のインジケータが赤色に点灯します。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます

お知らせ

次回からは、電源を入れたあと、プロフィール番号を指定するだけで、映像を楽しむことができます。

1. 各機器の電源を入れます
2. [PROFILE] ボタンを押します
 - スクリーンに「Recall 1 2 3 4」が表示されます
3. [◀▶] ボタンを押して、見たい映像のプロファイル番号を選びます
4. [STORE] ボタンを押して、確定します
 - スクリーンに映像が現れます。
 - プロファイルを呼び出したあと、設定内容を変更すると自動的に上書きされます。
5. [MENU] ボタンを押して、OSD メニューを消します



メニューで行う調整と設定

本機のメニューは次のような構成になっています。また、表示される文字は英語のみになります。セットアップメニューは、本体表示窓に表示されます。OSDメニューは、本機と接続しているプロジェクターを通してスクリーンに表示します。

セットアップメニューの設定項目

- SET: NTSC SCANRATE**
(NTSC 信号の出力スキャンレートの設定)
- SET: PAL SCANRATE**
(PAL 信号の出力スキャンレートの設定)
- SET: ACTIVE OUTPUT**
(出力信号の設定)
- SET: SCREEN SHAPE**
(プロジェクターのスクリーン形状の設定)
- SET: ANALOG BLACK LVL**
(アナログ黒信号のレベル設定)
- SET: COMP SYNC ON H**
(コンポジット同期信号の設定)
 - この設定を行う必要はありません。
- SET: INPUT HD H-ADJUST**
(HD 信号の水平位置の調整)
- SET: DVI INPUT LEVEL**
(DVI デジタル入力信号のレベル設定)
- SET: VIDEO INPUT**
(コンポジットビデオ信号の入力設定)
- SET: S-VIDEO INPUT**
(S ビデオ信号の入力設定)
- SET: RGB INPUT**
(RGB 信号の入力設定)
- SET: YCrCb INPUT**
(コンポーネントビデオ信号の入力設定)
- SET: DVI INPUT**
(DVI デジタル信号の入力設定)
- SET: PASSTHRU INPUT**
(パススルー (直結) 入力の設定)
- SET: RGB INPUT SYNC**
(RGB 同期信号の設定)
- SET: DVI INPUT H SYNC**
(DVI 入力時の水平同期信号の設定)
- SET: OSD**
(オン・スクリーン・ディスプレイの設定)
- SET: OSD TIMER**
(OSD タイマーの設定)
- SET: LCD TIMER**
(LCD タイマーの設定)

- SET: RS232 ECHO**
(RS-232C のエコーの設定)
- SET: BAUD RATE**
(RS-232C のポートレートの設定)
- SET: SCREEN TRIGGER**
(スクリーントリガーの設定)
- SET: 1080i TO 1080p**
(1080i 信号の出力レートの設定)
- SET: NTSC PROFILE**
(NTSC 信号のプロファイル設定)
- SET: PAL PROFILE**
(PAL 信号のプロファイル設定)
- SET: RESTORE FACTORY**
(工場出荷時の設定)

OSDメニューの設定項目

Input-

- Formats-Input
- Formats-Aspect
- Profile-Recall
- Profile-Store

Picture-

- Brightness
- Contrast
- Color
- Tint
- Detail
- Adv Color

Display-

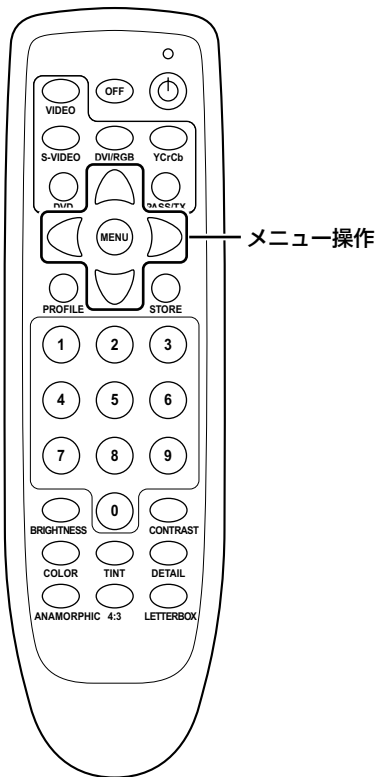
- Position-Horizontal (本機では機能しません)
- Position-Vertical (本機では機能しません)
- Border Lvl
- Left (Border)
- Right (Border)
- Bottom (Border)
- Top (Border)

Patterns-

- Test Pattern
- Select (Pattern)

セットアップメニューの操作

リモコンの操作ボタンを使って操作します。



1 [MENU] ボタンを約 7 秒間押します

- 本体表示窓にセットアップメニューが表示されます。オンスクリーン表示はできません。

SET: NTSC SCANRATE
1280 × 720

2 [▲/▼] ボタンを押して、設定項目を選びます

SET: ACTIVE OUTPUT
ANALOG RGB + DVI

例：「ACTIVE OUTPUT TYPE」の設定値を変更する場合

3 [◀/▶] ボタン押して、設定値を変更します

SET: ACTIVE OUTPUT
DVI

例：「ANALOG RGB+DVI」を「DVI」に変更した場合

お知らせ

スキャンレート（「SET: NTSC SCANRATE」または「SET: PAL SCANRATE」）を設定する場合は、選択後、[STORE] ボタンを 2 回押しします。

4 手順 2、3 をくり返し、他の項目を設定します

5 [MENU] ボタンを 2 回押して、セットアップメニューを終了します

セットアップメニューの内容

SET: NTSC SCANRATE (NTSC 信号の出力スキャンレートの設定)

NTSC信号の出力スキャンレートを設定します。「1920 × 1080」に設定してください。

〔設定値 :
1280 × 720, 1024 × 768, 1280 × 768,
1366 × 768, 1440 × 960, 1280 × 1024,
DILA, DILA3, 1920 × 1080, 1400 × 788,
1920 × 540, 800 × 600
初期値 : 1280 × 720〕

- [STORE] ボタンを2回押すとスキャンレートが設定され、プロファイルとして記憶されます。プロファイル設定については 15、22 ページをご覧ください。

SET: PAL SCANRATE (PAL 信号の出力スキャンレートの設定)

PAL 信号の出力スキャンレートを設定します。「1920 × 1080/50Hz」に設定してください。

〔設定値 :
1280 × 720/50Hz, 1024 × 768/75Hz,
1024 × 768/100Hz, 1920 × 1080/50Hz,
720 × 576/50Hz, 720 × 576/100Hz
初期値 : 1280 × 720/50Hz〕

- [STORE] ボタンを2回押すとスキャンレートが設定され、プロファイルとして記憶されます。プロファイル設定については 15、22 ページをご覧ください。

SET: ACTIVE OUTPUT (出力信号の設定)

本機の出力端子にアナログ信号 (BNC、D-sub) を出力するか、デジタル信号 (DVI) を出力するかを設定をします。

〔設定値 :
ANALOG RGB+DVI, ANALOG YPrPb, DVI,
ANALOG RGB
初期値 : ANALOG RGB+DVI〕

- 「ANALOG RGB+DVI」を選ぶと、デジタル信号とアナログ信号を出力します。ただし、YPrPb 信号は出力できません。
- それぞれの出力フォーマットを、プロファイルとして記憶することができます。(☞ 15、22 ページ)
- 本機の DVI 入力端子に HDCP 信号が入力された場合、アナログ端子には出力されません。また、本体表示窓に「ENCRYPTED SOURCE ANALOG OUT DISABLE」のメッセージを表示します。

SET: SCREEN SHAPE (プロジェクターのスクリーン形状の設定)

本機と接続するプロジェクターのスクリーン形状の設定をします。

〔設定値 : WIDESCREEN, WIDE 4:3, 4:3
初期値 : WIDESCREEN〕

■ WIDESCREEN(ワイドスクリーン)

プロジェクターからワイドスクリーンに 16:9 や 2.35:1 の映像を投写するときに選びます。

■ WIDE 4:3(ワイド 4:3)

プロジェクターからワイドスクリーンに 4:3 の映像を投写するときに選びます。(スキャンレートが 720p より低いときは、使用できません)

■ 4:3

4:3 のスクリーンを使用するときに選びます。

SET: ANALOG BLACK LVL (アナログ黒信号のレベル設定)

YPrPb コンポーネントビデオ信号の黒信号レベルを設定します。

〔設定値 : 0 IRE, 7.5 IRE
初期値 : 7.5 IRE〕

SET: COMP SYNC ON H (コンポジット同期信号の設定)

アナログ RGB 出力 (4 ワイヤー接続) で接続した場合の水平/垂直同期信号の設定をします。「ON」に設定すると [H SYNC] 端子からコンポジット同期信号が出力されます。

〔設定値 : OFF, ON
初期値 : OFF〕

- 本機はプロジェクターと DVI 接続にて使用しますので、この設定を行う必要はありません。
- 「SET: ACTIVE OUTPUT」の設定で、「ANALOG RGB+DVI」または「ANALOG RGB」を選択したとき、設定することができます。

SET: INPUT HD H-ADJUST (HD 信号の水平位置の調整)

通常映像の水平位置に、高画質映像 (720p/1080i) の水平位置を合わせるための設定をします。

[設定値 : 0-50
初期値 : 25]

- DVD からのテストパターンを用いて、適切な映像サイズとスクリーン上の映像位置を合わせます。最初に、本機 OSD メニューの「H/V-Position」で調整します。その後、HD 信号を用いて本調整を行います。

SET: DVI INPUT LEVEL (DVI デジタル入力信号の設定)

DVI 入力信号の信号レベルを設定します。

[設定値 : 16-235, 0-255
初期値 : 0-255]

- お使いになる入力機器の信号レベルに合わせて設定します。

SET: VIDEO INPUT (コンポジットビデオ信号の入力設定)

ビデオ入力端子を使用するか、しないかの設定をします。

[設定値 : ENABLE, DISABLE
初期値 : ENABLE]

- 「DISABLE」(使用しない)に設定した場合、OSD メニューの「INPUT」にて、「Video」を選択することはできません。
- 全ての端子を「DISABLE」(使用しない)にすることはできません。この場合、「SET: VIDEO INPUT」は「ENABLE」(使用する)になります。

SET: S-VIDEO INPUT (S ビデオ信号の入力設定)

S ビデオ入力端子を使用するか、しないかの設定をします。

[設定値 : ENABLE, DISABLE
初期値 : ENABLE]

- 「DISABLE」(使用しない)に設定した場合、OSD メニューの「INPUT」にて、「S-Video」を選択することはできません。

SET: RGB INPUT (RGB 信号の入力設定)

RGB 入力端子を使用するか、しないかの設定をします。

[設定値 : ENABLE, DISABLE
初期値 : ENABLE]

- 「DISABLE」(使用しない)に設定した場合、OSD メニューの「INPUT」にて、「RGB」を選択することはできません。

SET: YCrCb INPUT (コンポーネントビデオ信号の入力設定)

コンポーネントビデオ入力端子を使用するか、しないかの設定をします。

[設定値 : ENABLE, DISABLE
初期値 : ENABLE]

- 「DISABLE」(使用しない)に設定した場合、OSD メニューの「INPUT」にて、「YCrCb」を選択することはできません。

SET: DVI INPUT (DVI デジタル信号の入力設定)

DVI 入力端子を使用するか、しないかの設定をします。

[設定値 : ENABLE, DISABLE
初期値 : ENABLE]

- 「DISABLE」(使用しない)に設定した場合、OSD メニューの「INPUT」にて、「DVI」を選択することはできません。

SET: PASSTHRU INPUT (パススルー(直結)の入力設定)

パススルー(直結)を使用するか、しないかの設定をします。

[設定値 : ENABLE, DISABLE
初期値 : ENABLE]

SET: RGB INPUT SYNC (RGB 同期信号の設定)

RGB 信号入力時の同期信号を設定します。

[設定値 : SYNC ON GREEN, COMPOSITE SYNC
初期値 : SYNC ON GREEN]

- RGB 入力を選択したとき、設定することができます。
- PAL RGB 信号のときは「COMPOSITE SYNC」を選んでください。

SET: DVI INPUT H SYNC (DVI 入力時の水平同期信号の設定)

水平同期信号が合わないときに設定します。

〔設定値 : NORMAL, WIDE
初期値 : NORMAL〕

- DVI 入力を選択したとき、設定することができます。

SET: OSD (オン・スクリーン・ディスプレイの設定)

OSD メニューをスクリーンに表示をするか、しないかの設定をします。

〔設定値 : ON, OFF
初期値 : ON〕

SET: OSD TIMER (OSD タイマーの設定)

スクリーンに表示する表示時間を設定します。

〔設定値 : 0-255
初期値 : 30〕

SET: LCD TIMER (LCD タイマーの設定)

本体表示窓のバックライトの設定をします。

〔設定値 : ALWAYS ON, 06-255
初期値 : 30〕

SET: RS232 ECHO (RS-232C エコーの設定)

本機から外部制御用の機器に RS-232C コマンドを返す場合、「ON」にします。RS-232C のコードについては、26 ページをご覧ください。

〔設定値 : ON, OFF
初期値 : ON〕

SET: BAUD RATE (RS-232C のボーレートの設定)

RS-232C のボーレートの設定をします。

〔設定値 : 9600, 19200, 57600
初期値 : 19200〕

SET: SCREEN TRIGGER (スクリーントリガーの設定)

スクリーントリガー対応の昇降式スクリーンを制御するときに設定します。「ON」に設定すると、本機の電源が入っているときに DC+12 V を [SCREEN] 端子から出力します。「OFF」の場合は出力しません。

〔設定値 : ON, OFF
初期値 : ON〕

SET: 1080i TO 1080p (1080i 信号の出力スキャンレートの設定)

出力スキャンレートが 1080p のみに設定されている場合、1080i 信号の変換処理のしかたを設定します。

「HIGH BANDWIDTH MODE」は映像調整(レベル、アスペクト比など)なしで、最大限のバンド幅に変換処理します。「ENHANCED MODE」はフル画像調整にて、わずかに減少したバンド幅にします。

〔設定値 :
HIGH BANDWIDTH MODE, ENHANCED MODE
初期値 : HIGH BANDWIDTH MODE〕

- この設定は、映像出力信号 (「SET: NTSC SCANRATE」または「SET: PAL SCANRATE」を「1920 × 1080」または「1920 × 1080/50Hz」にしたとき、設定することができます。

SET: NTSC PROFILE (NTSC 信号のプロファイル設定)

NTSC 信号の全ての設定値を、選択したプロファイル番号に記憶します。

〔設定値 : STORE PROFILE 1-8
初期値 : STORE PROFILE 1〕

SET: PAL PROFILE (PAL 信号のプロファイル設定)

PAL 信号のすべての設定値を、選択したプロファイル番号に記憶します。

〔設定値 : STORE PROFILE 1-8
初期値 : STORE PROFILE 1〕

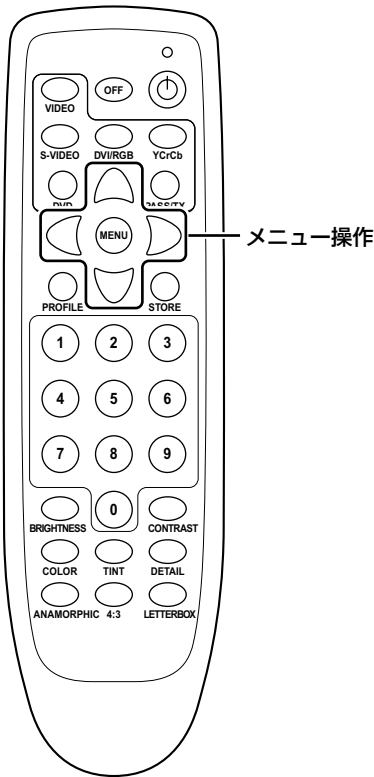
SET: RESTORE FACTORY (工場出荷時の設定)

工場出荷時の設定に戻します。

- この設定を行うと、すべてのプロファイルや設定値が消去されます。
- 本機が正常な動作をしない場合や、他のすべてのシステムチェックを行なったあとに、このコマンドを使用してください。
- この設定を行う前に、一度、本機から電源プラグを抜いてみてください。または、本体前面のリセットスイッチ(穴の奥にあるスイッチ)を先のとがっていない、折れにくい細い棒で軽く押してください。設定を消去せずに、ソフトウェアをリセットします。

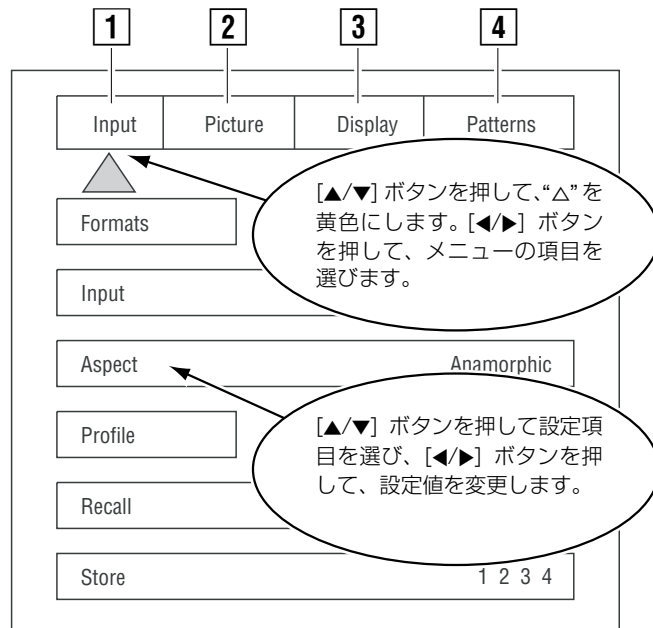
OSDメニューの操作

メニューはリモコンのボタンを使って操作します。また、表示される文字は英語のみになります。



1 [MENU] ボタンを押します

- スクリーンにOSDメニュー画面が表示されます。もう一度押すと、OSDメニュー画面が消えます。



2 [▲/▼] ボタンを押して、OSDメニュー上部の“△”を黄色にします

3 [◀/▶] ボタンを押して、メニュー項目(Input/Picture/Display/Patterns)を選びます

- それぞれのメニュー項目の設定項目が表示されます。

4 [▲/▼] ボタンを押して、設定項目を選びます

5 [◀/▶] ボタンを押して、設定値を変更します

6 [▲/▼] ボタンを押して、OSDメニュー画面に戻ります

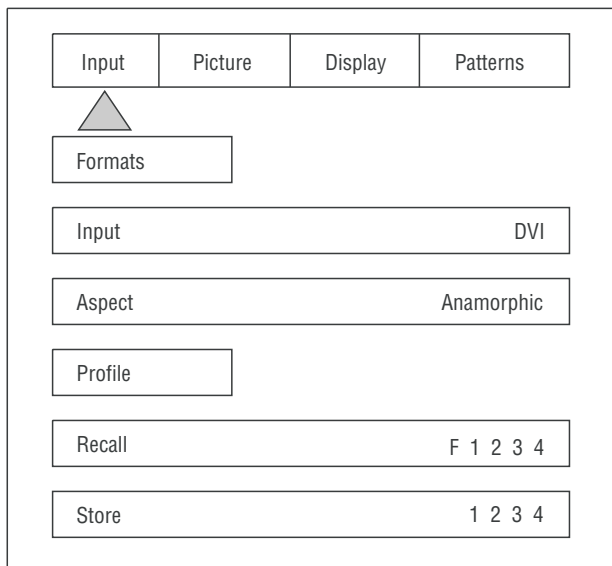
7 手順2から6をくり返し、他の項目を設定します

8 [MENU] ボタンを押して、OSDメニューを終了します

OSDメニューの内容

1 Input(インプット)メニュー

- 「Input」メニューの「Input」の設定は、リモコンの入力選択ボタンから設定できます。(p.8 ページ)



Formats(フォーマット)

Input(インプット)

本機に入力する信号を設定します。

[設定値: DVI, Video, S-Video, RGB, YCrCb]
[初期値: DVI]

Aspect(アスペクト)

本機から出力する映像信号のアスペクト比を設定します。

[設定値: Anamorphic, Letterbox, 4×3]
[初期値: Anamorphic]

- スクリーンのアスペクト比については、セットアップメニューで設定します。スクリーン形状の設定を「4:3」および「WIDE 4:3」にし、この設定で「Anamorphic」アスペクト比を選択した場合、スキャンレート 480p、540p、600p、フレームダブリングの信号は利用できません。
- 広角スクリーンで 4:3 の信号を投写すると、映像の左右に黒い帯が現れます。「Display」メニューの「Border Lvl」を調整することにより、左右の黒い帯の色をグレーに変えることができます。画面全体に映像を表示にしたいときは、「Input」メニューの「Aspect」を「Letterbox」にしてください。ただし、映像は画面全体に広がりますが、上下の一部の映像が表示されません(オーバースキャン)。
- 16:9 (1:77) のスクリーンでアスペクト比 2.35:1 の映画を見た場合、映像の上下に黒い帯がでます。

ご注意

16:9の画像サイズのディスプレイ機器に、16:9以外の画像(4:3など)を長時間映さないでください。焼きつきの原因となります。焼きつきは保証対象外となります。

Profile(プロファイル)

Recall(リコール)

記憶したプロファイルを呼び出します。

[設定値: F(Factory), 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8]

Store(ストア)

NTSC、PAL 用として、それぞれ 8 個のプロファイルを記憶できます。

[設定値: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8]

■プロファイルを記憶する

1. リモコンの [MENU] ボタンを押して、OSD メニューを表示します
2. 必要な設定(調整)をします
3. [▲/▼] ボタンを押して、「Store」を選びます
4. [◀/▶] ボタンを押して、記憶させる番号(1 ~ 8)を選びます
5. [STORE] ボタンを押して、記憶します

■プロファイルを呼び出す

1. リモコンの [MENU] ボタンを押して、OSD メニューを表示します
2. [▲/▼] ボタンを押して、「Recall」を選びます
3. [◀/▶] ボタンを押して、呼び出したい番号(1 ~ 8)を選びます
4. [STORE] ボタンを押して、呼び出します

お知らせ

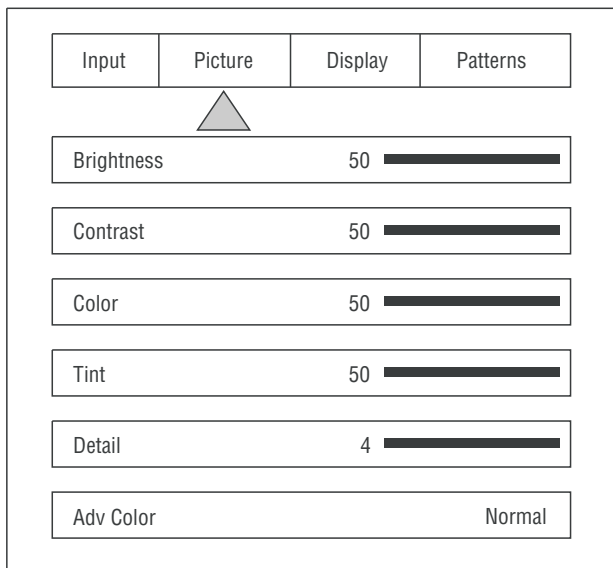
- プロファイルを呼び出したあと、設定内容を変更すると自動的に上書きされます。
- プロファイルは、コンピューターから RS-232C を経由して呼び出すこともできます。

お知らせ

- セットアップメニューの「SET: 1080i TO 1080p」の設定値が「HIGH BANDWIDTH MODE」の場合、下記のメニューは機能しません。
- Aspect (アスペクト)
 - Tint (ティント)
 - Detail (ディティール)
 - Adv Color (アドバンスド・カラーシステム)
 - Display (ディスプレイ)

2 Picture(ピクチャー)メニュー

- 「Brightness」、「Contrast」、「Color」、「Tint」、「Detail」は、OSD メニュー以外からも調整できます。リモコンの[BRIGHTNESS] ボタンなどを押したあと、数字ボタンを押して設定値を入力します。



Brightness(ブライトネス)

映像の明るさを調整します。

〔設定値：0-100
初期値：50〕

- リモコンの[BRIGHTNESS] ボタンを押しても調整できます。[BRIGHTNESS] ボタンを押したあと、数字ボタンを押して設定値を入力します。

Contrast(コントラスト)

映像の明暗の差を調整します。

〔設定値：0-100
初期値：50〕

Color(カラー)

映像の色の濃さを調整します。

〔設定値：0-100
初期値：50〕

Tint(ティント)

映像の色あいを調整します。

〔設定値：0-100
初期値：50〕

- 現状の色合い設定で、映像の色のバランスがとれていないように見える場合に、調整してください。
- コンポーネント(YPrPb) 信号のときは、調整できません。

Detail(ディテール)

映像の画質を調整します。

〔設定値：0-15
初期値：4〕

- ご覧になるコンテンツに合わせてお好みの設定値を選んでください。

Adv Color(アドバンスド・カラーシステム)

コンピューターアニメーションや、ハイレベルな色情報を持つ DVD は、クロマ・エッジ処理回路が不要ですので、「OFF(Bypass)」にします。その他の映像信号は「Normal」に設定します。

〔設定値：Normal, Bypass
初期値：Normal〕

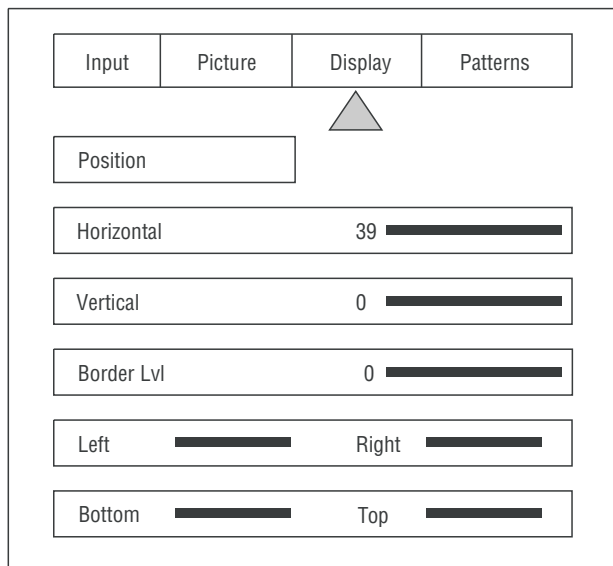
お知らせ

セットアップメニューの「SET: 1080i TO 1080p」の設定値が「HIGH BANDWIDTH MODE」の場合、下記のメニューは機能しません。

- Aspect (アスペクト)
- Tint (ティント)
- Detail (ディテール)
- Adv Color (アドバンスド・カラーシステム)
- Display (ディスプレイ)

3 Display(ディスプレイ)メニュー

セットアップメニューの「SET: 1080i TO 1080p」の設定値が「HIGH BANDWIDTH MODE」の場合、Display (メニュー) は機能しません。



Position (ポジション)

Horizontal(水平)

本機では機能しません。

Vertical(垂直)

本機では機能しません。

Border Lvl(ボーダーレベル)

黒から白までのブランキングレベル (ボーダーレベル) を調整します。16:9 のスクリーンに 4:3 の映像を投写すると、映像の左右に黒い帯が現れます。この帯をグレーに調整します。

[設定値 : 0-100
初期値 : 0]

Left(左)

左端のブランキングレベルを調整します。設定値は本体表示窓に表示されます。

[設定値 : 0-100
初期値 : 0]

Right(右)

右端のブランキングレベルを調整します。設定値は本体表示窓に表示されます。

[設定値 : 0-100
初期値 : 100]

Bottom(ボトム)

下端のブランキングレベルを調整します。設定値は本体表示窓に表示します。

[設定値 : 0-100
初期値 : 0]

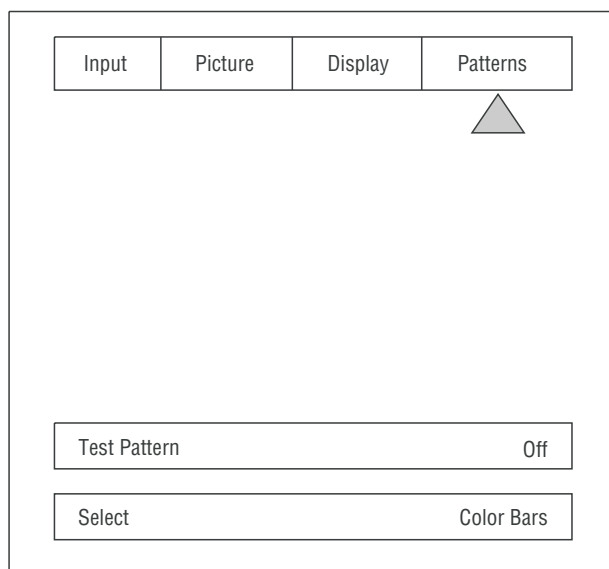
Top(トップ)

上端のブランキングレベルを調整します。設定値は本体表示窓に表示します。

[設定値 : 0-100
初期値 : 100]

4 Patterns(パターン)メニュー

本機内蔵のテストパターンです。映像の調整などに使用します。テストパターン自体の調整はできません。



Test Pattern(テストパターン)

本機内蔵のテストパターンを使用するか、しないかの設定をします。

[設定値 : Off, On
初期値 : Off]

Select(セレクト)

出力するテストパターンを選びます。

[設定値 :
Color Bars, Pluge, Window, Multiburst, Border,
Converge, Blue, Red, Green, Black, Cr Ramp,
Cb Ramp, Y Ramp, Grey Step, Rev Bars
初期値 : Color Bars]

ワーニング表示

稼動中に本体内部の温度が高くなると、本体表示窓に警告メッセージを表示します。

表示内容	警告内容	対応方法
「LEVEL 1 WARNING HIGH TEMPERATURE」	本体の内部温度が通常操作時より高くなったときに表示します。	本体の電源を切り、内部が冷えるまでしばらく放置してください。その後、吸気口をふさいでいないか確認し、基本操作通りに立ち上げてください。
「LEVEL 2 WARNING HIGH TEMPERATURE」	本体内部の温度が上昇し、規定値に近づいたときに表示します。	直ちに本体の電源を切り、内部が冷えるまでしばらく放置してください。その後、吸気口をふさいでいないか確認し、基本操作通りに立ち上げてください。
「LEVEL 3 WARNING EXCESSIVE TEMPERATURE」	本体内部の温度が上昇し、規定値に達したときに表示します。5秒間、警告表示をしたあと本機の電源が切れます。	コンセントから電源プラグを抜き、内部が冷えるまでしばらく放置してください。その後、吸気口をふさいでいないか確認し、基本操作通りに立ち上げてください。

RS-232C 外部制御の説明

コンピューターと本機を RS-232C ストレートケーブル（別売）で接続すると、コンピューターから本機を制御することができます。ここでは制御に必要なコマンドをまとめてあります。詳しくは、お買い上げの販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。

コマンド構成

本機に制御コマンドを送信するときは、DVP ヘッダーのあとにカンマ（スペース無し）を入れ、そのあとにコマンドを記載します。また、各コマンドのコードに表記されている「#」はパラメータ（数値）を表します。

例：本機の電源をオンする場合

dvp,on [↵ Enter]

（[↵ Enter]は、キャリッジ リターンを表します）

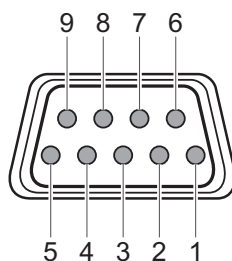
- この場合、電源オンのコマンドを送付したあと本機が立ち上がる（初期化終了）まで、次のコマンドは送らないでください。

また、同時に複数のコマンドを送信することもできます。その場合は、キャリッジ リターンコマンドの前に、各ファンクションコマンドをカンマで区切って記載します。

例：dvp,on,x,a2,srn4 [↵ Enter]

（制御コマンド=ヘッダー、電源オン、YCrCb（コンポーネント）入力、16:9、1280 × 720 スキャンレート[キャリッジ リターン]）

RS-232C 端子



ピン番号	信号名
1	N/C
2	RD
3	TD
4	N/C
5	GND
6	N/C
7	N/C
8	N/C
9	N/C

パーソナルコンピューターについて

標準の Windows HyperTerminal ソフトを使用し、コンピューターから本機を制御します。コンピューターを以下の設定にし、標準の RS-232C ストレートケーブル（D-sub 9 ピン）で接続してください。

通信速度 : 19200 bps
データビット : 8 ビット
パリティ : なし
ストップビット : 1 ビット
フロー制御 : なし

RS-232C制御コマンド

■オペレーション・コマンド

コード	設定範囲	詳細
A#	(0-2) 0=4:3、1=レターボックス、2=16:9	入力信号のアスペクト比
B#	(0-100) 50 (初期値)	ブライト
C#	(0-100) 50 (初期値)	コントラスト
D#	(0-15) 4 (初期値)	ディテール
DVI		DVI 入力
EXT		パススルー入力
FST		現在のシステムステータスの表示
HELP		本機のコマンドリストの表示
K#	(0-100) 50 (初期値)	カラー
OFF		パワーオフ
ON		パワーオン
P#	(0-8) [1-8=ユーザー、0=工場出荷値]	プロファイルの呼び出し
PM#	(0-1) [0=Normal、1=Bypass]	アドバンスド・カラーシステム
R		RGB 入力
ST		現在のステータスの表示
STHELP		セットアップメニューの表示
STNP#	(1-8)	NTSC プロファイルの記憶
STPP#	(1-8)	PAL プロファイルの記憶
T#	(0-100) 50 (初期値)	ティント
V		ビデオ入力
X		YCrCb 入力
Y		Sビデオ入力

■セットアップ・コマンド

コード	設定範囲	詳細
BB#	(0-100) 0 (初期値)	下端ブランキング
BL#	(0-100) 100 (初期値)	映像の帯のブランキングレベル (黒~白)
BLT#	(06-255)	本体表示窓のLCDバックライトのタイマー
BLV#	(0=0 IRE、1=7.5 IRE)	黒レベル
CR#	(0=0-255、1=16-235)	DVI 入力レベル
CS#	(1=ON、0=OFF)	コンポジット同期信号 (RGB 出力)
DHS#	(0=NORMAL、1=WIDE)	DVI 入力の水平同期信号
DVID		DVI 入力不可
DVIE		DVI 入力可
E#	(1=ON、0=OFF)	RS-232C エコーの設定
EX#	(0=SYNC ON GREEN、1=COMPOSITE SYNC)	RGB 入力同期信号
EXTD		パススルー入力不可
EXTE		パススルー入力可
HDPROC#	(0=ENHANCED MODE、1=HIGH BANDWIDTH MODE)	1080i 信号の出力スキャンレートの設定
HP#	(0-50) 39 (初期値)	水平位置
IHA#	(0-50) 25 (初期値)	HD 信号の水平位置の調整
LB#	(0-100) 0 (初期値)	左端ブランキング
M#	(0=RGB、1=YPrPb)	出力フォーマット
OSDOFF		OSD オフ

RS-232C 外部制御の説明 (つづき)

コード	設定範囲	詳細
OSDON		OSD オン
OSDT#	(0-255) 30 (初期値)	OSD タイマー
OUTMOD	(0=ANALOG YPrPb, 1=DVI, 2=ANALOG RGB, 3=ANALOG RGB+DVI)	出力モード
RB#	(0-100) 100 (初期値)	右端ブランキング
RD		RGB 入力不可
RE		RGB 入力可
SCRTRG#	(1=ON, 0=OFF)	12V スクリーントリガー
SETFT		工場出荷時の設定に戻す
SRN#	(1-12)	NTSC スキャンレート選択
SRNHELP		NTSC スキャンレートヘルプメニュー
SRP#	(1-6)	PAL スキャンレート選択
SRPHELP		PAL スキャンレートヘルプメニュー
TB#	(0-100) 100 (初期値)	上端ブランキング
TPHLP		テストパターンヘルプメニューの表示
STHELP		セットアップヘルプメニュー
VP#	(0-20) 0 (初期値)	垂直位置
VPOL#	(0=Neg, 1=Pos)	垂直同期信号の極性
W#	(0=4:3, 1=WIDESCREEN, 2=WIDE 4:3)	スクリーン形状
XD		YCrCb 入力不可
XE		YCrCb 入力可
YD		S ビデオ入力不可
YE		S ビデオ入力可

■NTSC スキャンレート・リスト

- 本機ではNTSC スキャンレート「1920 × 1080」を使用します。その他のスキャンレートは使用しません。

SRN1	1400 × 788	SRN2	1920 × 540
SRN3	800 × 600	SRN4	1280 × 720
SRN5	1024 × 768	SRN6	1280 × 768
SRN7	1366 × 768	SRN8	1440 × 960
SRN9	1280 × 1024	SRN10	1365 × 1024 (DILA)
SRN11	1400 × 1050 (DILA3)	SRN12	1920 × 1080

■PAL スキャンレート・リスト

- 本機ではPAL スキャンレート「1920 × 1080/50Hz」を使用します。その他のスキャンレートは使用しません。

SRP1	720 × 576/50Hz	SRP2	720 × 576/100Hz
SRP3	1280 × 720/50Hz	SRP4	1024 × 768/75Hz
SRP5	1024 × 768/100Hz	SRP6	1920 × 1080/50Hz

■テストパターン・ヘルプメニュー

TP0	Test Pattern Off	TP1	Color Bars
TP2	Rev Bars	TP3	Grey Step
TP4	Y Ramp	TP5	Cb Ramp
TP6	Cr Ramp	TP7	Black
TP8	Green	TP9	Red
TP10	Blue	TP11	Converge
TP12	Border	TP13	Multiburst
TP14	Window	TP15	Pluge

保障とアフターサービス保証書(必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

デジタルビデオプロセッサの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後、8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオプロセッサ
型名	LD-HD2KB
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

■修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。 +
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 +
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のビデオプロセッサの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。



ご使用中

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでプロセッサの安全



お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 1. 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 2. 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

■ 型名/品名	LD-HD2KB デジタルビデオプロセッサ																								
■ カラー方式	NTSC、PAL (自動切換)																								
■ 入力端子	ビデオ入力 : 480i/480p/576i/576p/720p/1080i																								
VIDEO	1 系統、BNC × 1 1.0 Vp-p																								
S-VIDEO	1 系統、ミニDIN 4ピン × 1 Y : 1.0 Vp-p、C : 0.286 Vp-p																								
R、Gs、B、C-SYNC	1 系統、BNC × 4 R/G/B : 0.7 Vp-p、C-SYNC : 1.0 Vp-p																								
Y、Pr、Pb	1 系統、BNC × 3 Y : 1.0 Vp-p、Pr/Pb : 0.7 Vp-p																								
DVI INPUT	1 系統、DVI-D 24ピン、*HDCP対応																								
PASS-THRU	1 系統、D-sub 15ピン <table border="1" data-bbox="517 618 1474 925"> <thead> <tr> <th>ピン番号</th> <th>信号名</th> <th>ピン番号</th> <th>信号名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Red、Pr</td> <td>6</td> <td>GND</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Green、Y</td> <td>7</td> <td>GND</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Blue、Pb</td> <td>8</td> <td>GND</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>GND</td> <td>10</td> <td>GND</td> </tr> </tbody> </table>	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	1	Red、Pr	6	GND	2	Green、Y	7	GND	3	Blue、Pb	8	GND	4	—	9	—	5	GND	10	GND
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名																						
1	Red、Pr	6	GND																						
2	Green、Y	7	GND																						
3	Blue、Pb	8	GND																						
4	—	9	—																						
5	GND	10	GND																						
RS-232 CONTROL	1 系統、D-sub 9ピン、RS-232C (外部制御)																								
IR LED	本機では使用できません。																								
RS-232C OPTION	本機では使用できません。																								
■ 出力端子	出力信号 : 1080/50p、1080/60p																								
R、G、B、H/V-SYNC	1 系統、BNC × 5 R/G/B : 0.7 Vp-p/75 Ω、H/V SYNC : 4.5 V/2 kΩ																								
Y、Pr、Pb	1 系統、BNC × 3 Y : 1.0 Vp-p、Pr/Pb : 0.7 Vp-p																								
MONITOR	1 系統、D-sub 15ピン R/G/B/Pr/Pb : 0.7 Vp-p/75 Ω、Y : 1.0 Vp-p、H/V : 4.5 V/2 kΩ																								
DVI OUTPUT	1 系統、DVI-D 24ピン、*HDCP対応																								
SCREEN	1 系統、直径3.5mm、モノラルミニジャック(DC+12V/100 mA)																								
■ 使用電源	交流100 V、50 Hz/60 Hz、定格電力1 A																								
■ 使用環境	温度 : +5 °C~+35 °C 湿度 : 20 %~80 % (非結露) (保存温度 : -10 °C~+60 °C)																								
■ 外形寸法	約45 mm(H) × 約438 mm(W) × 約303 mm(D) (突起部除く)																								
■ 質量	約6.3 Kg																								
■ 付属品	(5ページをご覧ください。)																								

*HDCP規格変更によりDVI入力端子の映像が表示されないことがあります。

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- このデジタルビデオプロセッサを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
- This digital video processor is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 写真や図は説明をわかりやすくするために、誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- 本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。
- D-ILAは、日本ビクターの登録商標です。
- DCDi™は、米国Genesis Microchip社の事業部門であるFaroudjaの登録商標です。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
 お買い上げの販売店にご相談ください。


転居されたり、贈答品などでお困りの場合には、下記の相談窓口にご相談ください。
 ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、29ページをご覧ください。

修理などのアフターサービスに
 関するご相談

お買い物情報や全般的なご相談

別紙の
 「ビクターサービス窓口案内」
 をご覧ください。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
 **0120-2828-17**

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045)450-8950**

FAX **(045)450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

ILA センター

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12